



パーソルホールディングス株式会社

2023年11月10日（金）16:00-16:45 開催

FY2023 Q2 決算説明会 書き起こし

# ハイライト



1

## FY2023\* 上期決算概要 (IFRS)\* FY2023 : 2024年3月期を指す (以下同じ)

- 上期の売上収益は6,548億円 (前年同期比+7.8%) 営業利益は263億円 (同△22.6%)、調整後EBITDAは350億円 (同△19.0%)
- 売上総利益は前年対比+6.8%と堅調。来期以降の成長に必要なdoda Xなどへの投資は継続
- 上期営業利益の進捗率 (対通期予想) は48.4%。景況観など外部要因による影響を注視  
下期は全社で経費コントロールをさらに強化

2

## 人材紹介市場とCareer SBUの中長期成長戦略

- 人材紹介のハイクラス市場は、2030年に向けてもっとも成長する市場
- doda、dodaXは「集めるチカラ」を高め、次のフェーズをめざす

3

## FY2023\* 中間配当、期末配当予想

- 中間配当は、予想通り43円
- 期末配当予想は、2023/10/1を効力発生日に普通株式1株を10分割したことに伴い4.3円の見込み

【代表取締役社長 CEO 和田】改めましてみなさん、こんにちは。パーソルホールディングスの和田でございます。今日はお忙しいところお集まりいただきましてまことにありがとうございます。

今日皆さんにお伝えしたいことはこの3つです。1つ目は上期の決算概要、そして2つ目は、特に今年度、今中計で重点的に取り組んでおります、人材紹介事業のマーケット感と、それから Career SBU の取り組みに関しましてご説明したいと思っています。そして3つ目は中間配当でございます。今中間配当は、予想通り43円とさせていただきますが、下期の期末の配当もですね、これは4.3円とさせていただきますが、株式を10分割しておりますので、上期と、中間配当と同じ水準で、調整後EPSの50%を配当させていただくということを取り組まさせていただきます。このハイライトにおきまして、特にこの売上のところはですね、収益は6,548億円と、それから調整後のEBITDAは350億円となっております。売上総利益は、前期比、前年対比で6.8%と、堅調に推移はしております。ほぼ計画どおりには推移していますが、今後のマーケットの動向等もしっかりと注視する必要があると考えています。特に、コロナ禍の、コロナ後のある意味非常に盛況だったマーケット感と、多少環境の変化もあろうかと思っておりますので、そういったところもしっかり注視しながら、下期は全社で経費コントロールも含めて経営にあたりたいと考えております。詳細におきまして、CFOの徳永からご説明をさせていただきます。それでは徳永さんお願いします。

# FY2023 上期決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】財務担当の徳永でございます。それでは私から上期の決算の概要について説明をいたします。

## FY2023 上期決算概要（連結）

### 売上収益・売上総利益ともに堅調に拡大



(単位：百万円)	FY2022 上期実績*3	FY2023 上期実績	前年同期比	FY2023 通期予想	進捗率
売上収益	607,256	654,887	+7.8%	1,340,000	48.9%
売上総利益	139,231	148,645	+6.8%	-	-
営業利益	34,092	26,379	△22.6%	54,500	48.4%
営業利益率 (%)	5.6%	4.0%	△1.6pt	4.1%	-
EBITDA	49,146	40,771	△17.0%	-	-
EBITDA Margin (%)	8.1%	6.2%	△1.9pt	-	-
調整後EBITDA	43,285	35,039	△19.0%	75,500	46.4%
調整後EBITDA Margin (%)	7.1%	5.4%	△1.7pt	5.6%	-
四半期利益*1	22,025	16,768	△23.9%	33,500	50.1%
調整後四半期利益	24,154	19,004	△21.3%	39,000	48.7%
調整後EPS (円)*2	10.48	8.35	△20.3%	17.14	48.7%

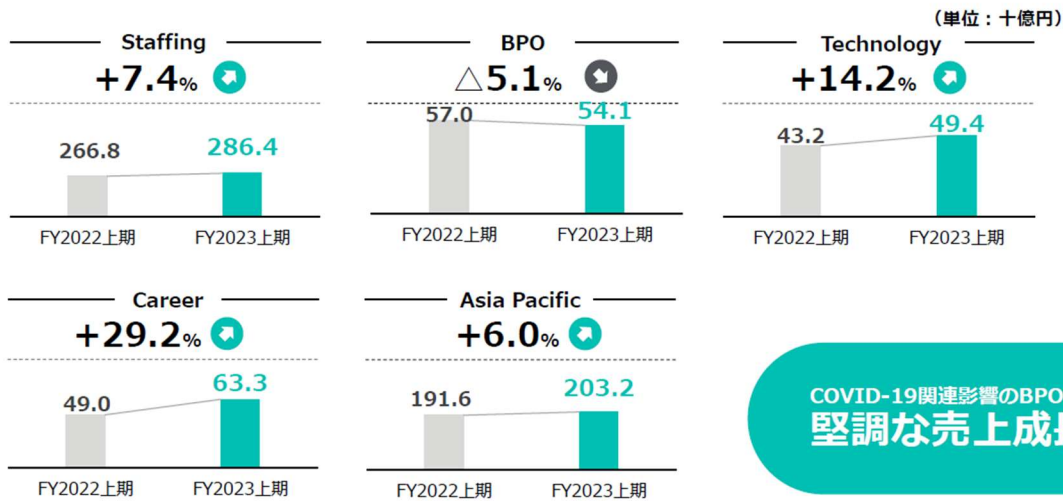
\*1 親会社の所有者に帰属する四半期利益 \*2 2023/10/1付け株式分割後換算 \*3 IFRSベース

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

まず概要ですが、売上高につきましては前年同期比 7.8%増の 6,548 億となりました。また営業利益につきましては、前年対比 22%減の 263 億円。そして、当社が重要視しております調整後 EBITDA につきましては、19%減の 350 億円。また、四半期利益につきましては、23%減の 167 億円となりました。年間の見通しに対する進捗率ですが、売上につきましては 48%、そして営業利益につきましても同じく 48%です。

## FY2023 上期 SBU別売上収益

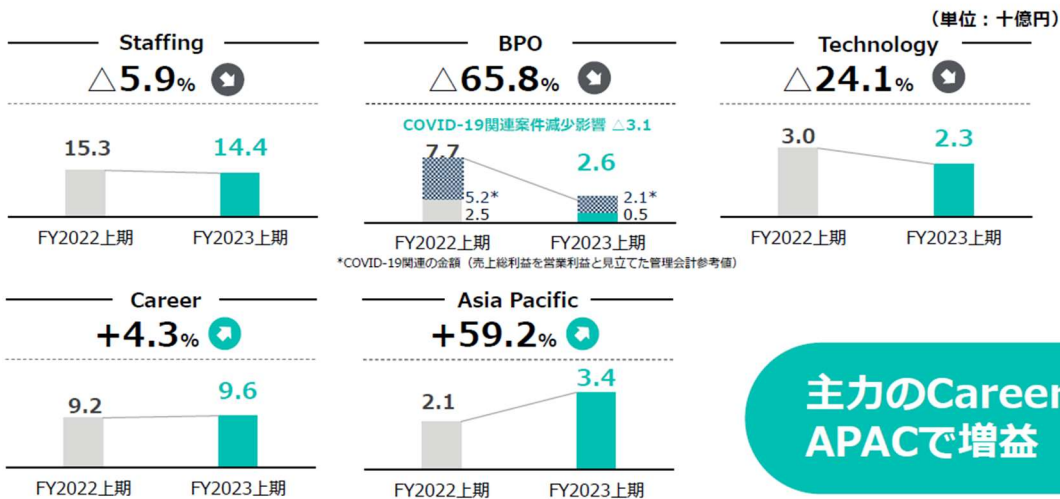


Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

続きまして SBU 別の売上の状況です。BPO SBU につきましては、ご案内の通りコロナ関係の売上が大きく剥落しているということで減収になっておりますが、その他の SBU につきましては大きく売上を成長させていただいております。詳しくはまた後半の SBU 別の状況で説明をいたします。

## FY2023 上期 SBU別営業利益

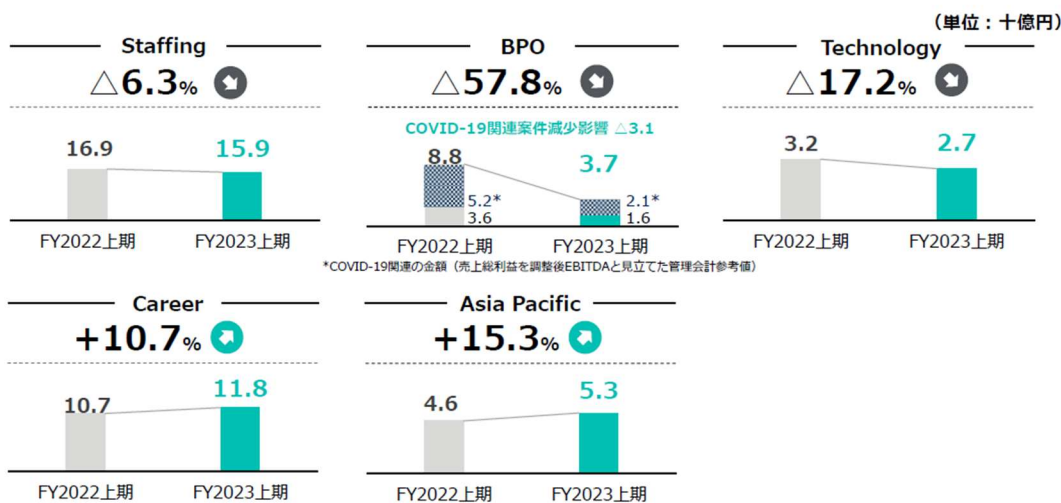


Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

続きまして、SBU 別の営業利益です。今中計から、第 1 四半期からしっかりと戦略投資を使っていくという方針でやっております関係で、Staffing SBU、BPO、Technology については、対前年同期比で減益ですが、今期の成長の柱である Career SBU につきましてはプラス 4.3%、そして Asia Pacific については約 60%の増益でございます。

## FY2023 上期 SBU別調整後EBITDA



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

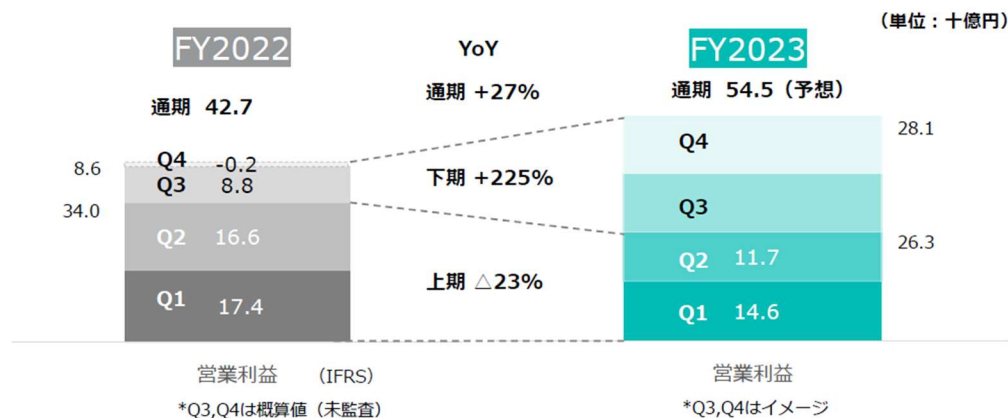
7

SBU 別の調整後 EBITDA ですが、こちらの方は先程の営業利益とほぼ同じ動きですので、説明は省略させていただきます。

## 営業利益の進捗



FY2023上期はYoY△23%だが、下期は前年対比で増益の見込み



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

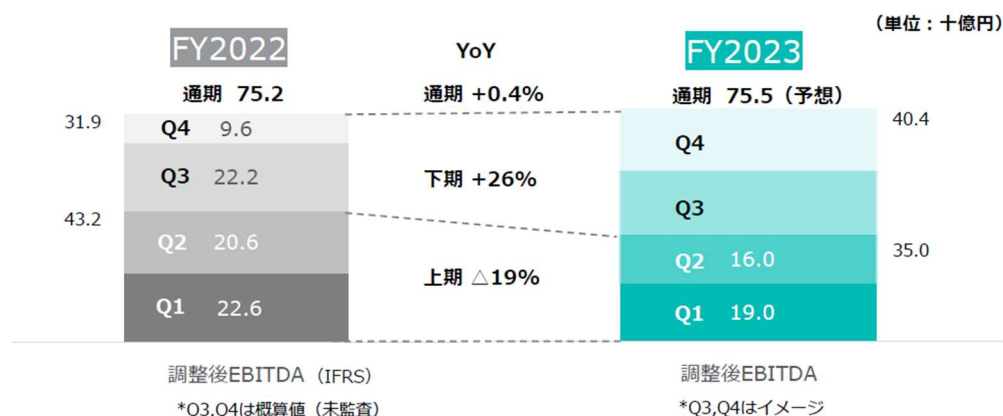
8

続きまして、下期の営業利益の見通しですが、昨年度は上期に大きく利益を出して、後半戦略投資を行うという戦略でやってまいりましたが、今中計からは第1四半期から戦略投資を始めるということで、ほぼ均等の営業利益を目標としております。下期については上期対比で増益になるように目指してやっていきたいというふうを考えております。

## 調整後EBITDAの進捗



FY2023上期はYoY△19%だが、下期は前年対比で増益の見込み



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

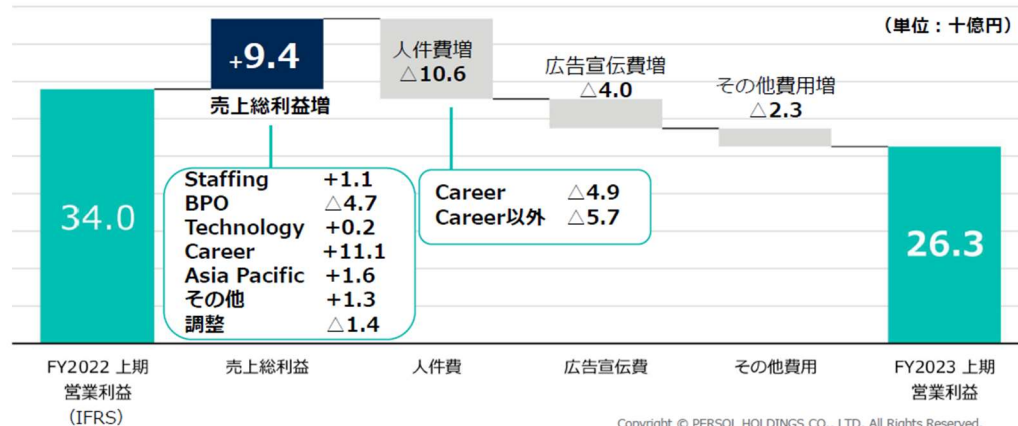
9

続きまして、調整後 EBITDA ですが、こちらの方も先程の営業利益と同じように下期しっかりと利益を出していきたいと考えております。

## FY2023 上期 営業利益の増減分析



売上総利益の成長は堅調、  
人的資本投資とマーケティング投資を継続実施



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

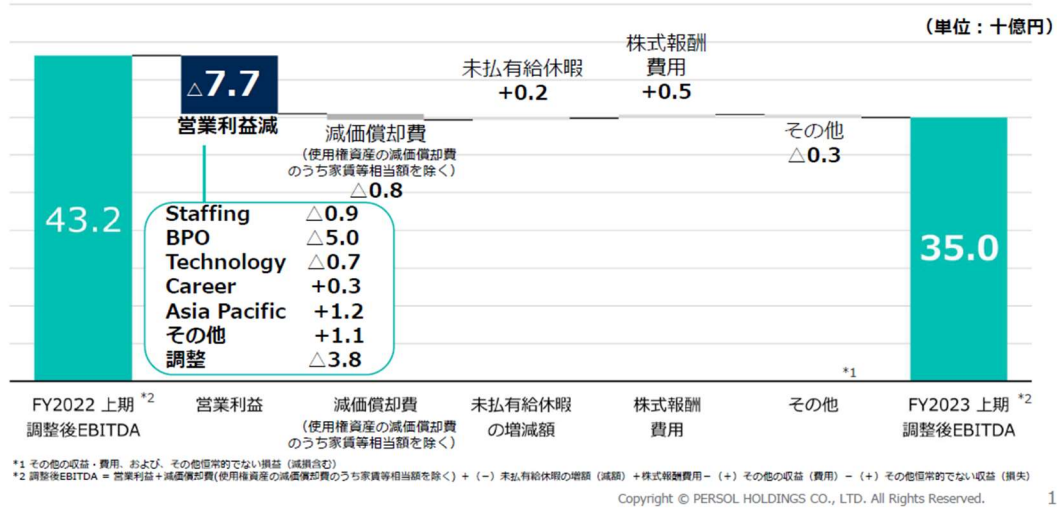
10

続いて、昨年度の上期対比の営業利益の増減分析です。

まず、売上総利益（粗利）でございますが、前年対比で 94 億円の増益でした。特に、Career SBU につきましては前年対比で 111 億という大きな粗利の増を達成しました。一方で費用の方ですが、人的資本投資を含めた人件費の増でプラス 106 億円、そしてマーケティングの広告宣伝費ということで 40 億円、ということで費用が増えております。



## FY2023 上期 調整後EBITDAの増減分析



続きまして、調整後の EBITDA の前年対比ですが、先程説明した営業利益の増減に加えまして、有給負債の増、あるいは株式報酬の調整ということをやっていますが、大きな、昨年度対比での変更点はありません。

## (参考) FY2023 上期 SBU別 売上収益



(IFRS) (単位：百万円)

	FY2022 上期実績	FY2023 上期実績	前年同期比	FY2023 通期予想	進捗率
連結	607,256	654,887	+7.8%	1,340,000	48.9%
Staffing	266,808	286,459	+7.4%	597,000	48.0%
BPO	57,064	54,137	△5.1%	104,000	52.1%
Technology	43,259	49,415	+14.2%	102,000	48.4%
Career	49,070	63,388	+29.2%	137,000	46.3%
Asia Pacific*	191,650	203,223	+6.0%	399,000	50.9%
その他	15,094	16,550	+9.6%	39,000	42.4%
調整	△15,692	△18,287	-	△38,000	-

\*為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022上期：134.0円、FY2023上期：141.1円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022上期：93.6円、FY2023上期：93.3円

続きまして、上期の SBU ごとの売上の状況です。  
 まず、全体としては 48.9%の進捗です。

## (参考) FY2023 上期 SBU別 営業利益および営業利益率



		(IFRS)			(単位: 百万円)	
	FY2022 上期実績	FY2023 上期実績	前年同期比	FY2023 通期予想	進捗率	
連結	34,092 5.6%	<b>26,379</b> <b>4.0%</b>	△22.6% △1.6pt	54,500 4.1%	<b>48.4%</b> -	
Staffing	15,322 5.7%	<b>14,420</b> <b>5.0%</b>	△5.9% △0.7pt	26,800 4.5%	<b>53.8%</b> -	
BPO	7,736 13.6%	<b>2,644</b> <b>4.9%</b>	△65.8% △8.7pt	7,200 6.9%	<b>36.7%</b> -	
Technology	3,080 7.1%	<b>2,339</b> <b>4.7%</b>	△24.1% △2.4pt	5,200 5.1%	<b>45.0%</b> -	
Career	9,234 18.8%	<b>9,629</b> <b>15.2%</b>	+4.3% △3.6pt	21,800 15.9%	<b>44.2%</b> -	
Asia Pacific*	2,175 1.1%	<b>3,464</b> <b>1.7%</b>	+59.2% +0.6pt	6,800 1.7%	<b>50.9%</b> -	
その他	△2,049	<b>△867</b>	-	△2,900	-	
調整	△1,407	<b>△5,251</b>	-	△10,400	-	

\*為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022上期: 134.0円、FY2023上期: 141.1円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022上期: 93.6円、FY2023上期: 93.3円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

続きまして、SBU別の営業利益、営業利益率の状況です。全体としては48.4%の進捗でした。

Staffing、そしてAsia Pacificにつきましては50%超の進捗率です。一方で、BPOとTechnologyにつきましては、上期は若干低い進捗率ではありますが、事業の特性上、後半に増益になると見込んでおります。Career SBUにつきましては、先程和田の方から説明もございましたが、景況感に関連するところもありますので、上期の進捗は44%でした。下期は、コストコントロールをしながら増益を達成したいと考えております。

## (参考) FY2023 上期 SBU別 調整後EBITDAおよび調整後EBITDA Margin



		(IFRS)			(単位: 百万円)	
	FY2022 上期実績	FY2023 上期実績	前年同期比	FY2023 通期予想	進捗率	
連結	43,285 7.1%	<b>35,039</b> <b>5.4%</b>	△19.0% △1.8pt	75,500 5.6%	<b>46.4%</b> -	
Staffing	16,993 6.4%	<b>15,931</b> <b>5.6%</b>	△6.3% △0.8pt	31,100 5.2%	<b>51.2%</b> -	
BPO	8,834 15.5%	<b>3,729</b> <b>6.9%</b>	△57.8% △8.6pt	9,600 9.2%	<b>38.9%</b> -	
Technology	3,279 7.6%	<b>2,713</b> <b>5.5%</b>	△17.2% △2.1pt	6,800 6.7%	<b>39.9%</b> -	
Career	10,741 21.9%	<b>11,893</b> <b>18.8%</b>	+10.7% △3.1pt	27,100 19.8%	<b>43.9%</b> -	
Asia Pacific*	4,638 2.4%	<b>5,347</b> <b>2.6%</b>	+15.3% +0.2pt	10,200 2.6%	<b>52.4%</b> -	
その他	△902	<b>△936</b>	-	△600	-	
調整	△299	<b>△3,639</b>	-	△8,600	-	

\*為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022上期: 134.0円、FY2023上期: 141.1円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022上期: 93.6円、FY2023上期: 93.3円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

続きまして、SBU別の調整後EBITDAですが、これは先程の営業利益と同じような進捗ですので、説明は省略させていただきます。



## FY2023 上期 連結財政状態計算書



	(IFRS)				(IFRS)		
	FY2022 Q4末	FY2023 Q2末	増減額		FY2022 Q4末	FY2023 Q2末	増減額
<b>流動資産</b>	301,445	<b>299,804</b>	△1,641	<b>流動負債</b>	249,552	<b>247,821</b>	△1,730
(主な内訳)				(主な内訳)			
現金及び現金同等物	101,233	<b>102,753</b>	+1,519	営業債務等*2	93,688	<b>95,021</b>	+1,332
営業債権等*1	162,853	<b>160,684</b>	△2,168	社債・借入金	21,174	<b>15,782</b>	△5,392
<b>非流動資産</b>	187,283	<b>197,265</b>	+9,982	<b>非流動負債</b>	55,647	<b>49,996</b>	△5,650
(主な内訳)				(主な内訳)			
のれん	58,465	<b>60,258</b>	+1,793	社債・借入金	30,117	<b>20,000</b>	△10,117
無形資産	35,250	<b>37,345</b>	+2,094	<b>負債合計</b>	305,199	<b>297,818</b>	△7,381
使用権資産	28,168	<b>31,685</b>	+3,517	<b>資本</b>	183,529	<b>199,251</b>	+15,722
<b>資産合計</b>	488,728	<b>497,069</b>	+8,341	<b>負債・資本合計</b>	488,728	<b>497,069</b>	+8,341

\*1 営業債権及びその他の債権  
\*2 営業債務及びその他の債務

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

続きまして、バランスシートの状況です。

3 月末対比で 9 月の状況をお示しておりますが、大きな変更点はありません。負債のところを見ていただくと、短期の借入、そして長期の借入ということで、両方で 150 億円返済をしております。また、資本のところでも 3 月末対比で 157 億の増となりました。

## のれん残高

(単位：百万円)



SBU	FY2022 Q4末	FY2023 Q2末
Staffing	8,177	8,177
BPO	6,362	6,362
Technology	1,988	1,988
Career	16,712	16,712
Asia Pacific	23,526	25,319
PERSOLKELLY	1,805	1,947
Programmed Staffing	5,898	6,317
Programmed Property Services	1,282	1,374
Programmed Facility Management	11,507	12,342
Programmed Others	1,160	1,242
その他	1,870	2,095
上記SBU以外	1,698	1,698
<b>合計</b>	<b>58,465</b>	<b>60,258</b>

\*為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022 Q4：133.5円、FY2023 Q2：149.6円  
【米ドル (Programmed)】 FY2022 Q4：89.7円、FY2023 Q2：96.1円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

のれんにつきましては、為替の影響で Asia Pacific のところがのれんが若干増えておりますが、全体としては大きな変更点はありません。

## FY2023 Q2 連結キャッシュ・フロー計算書



営業CFは、税引前四半期利益の減少を、債権債務の増減による収入が上回り、前年同期比で収入が増加  
FCFは、営業CF増に投資CF減が加わり、前年同期比大幅増  
(IFRS)

(単位：百万円)	FY2022 Q2累計実績	FY2023 Q2累計実績	増減額
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	26,709	<b>40,867</b>	+14,158
(主な内訳)			
税引前四半期利益	33,992	<b>25,982</b>	△8,009
営業債権及びその他の債権の増減額	3,016	<b>6,414</b>	+3,398
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	△13,871	<b>△7,781</b>	+6,090
(主な内訳)			
無形固定資産の取得による支出	△4,640	<b>△5,562</b>	△922
事業譲渡による支出	△1,453	-	+1,453
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	12,838	<b>33,086</b>	+20,248
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	△21,131	<b>△33,609</b>	△12,478
(主な内訳)			
社債の償還による支出	-	<b>△10,000</b>	△10,000
短期借入金の増減(純額)	729	<b>△5,968</b>	△6,697
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	88,585	<b>102,753</b>	+14,167

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

17

続きまして、キャッシュフローの状況です。

上期の営業キャッシュフローは 408 億円ということで、大きく伸ばすことができました。また、投資キャッシュフローにつきましては、上期事業譲受、あるいは M&A 等がなかった為に、マイナス 77 億ということで、フリーキャッシュフローにつきましては昨年の 128 億に対して 330 億ということで、大きく改善しております。

## FY2023 上期 SBU別決算概要

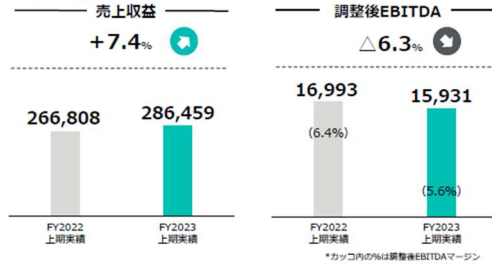
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続いて上期の SBU 別の決算概要、そして足元の状況について説明をさせていただきます。

# SBU別上期決算概要 –Staffing SBU–



FY2023上期  
(単位：百万円)



## 四半期（2023年7～9月）コメント

- 売上収益は前年同期比 +7.4%の増収
- 調整後EBITDAは社会保険制度変更に伴う原価増等の結果6.3%の減益

売上増減分析(yoy)	単位	FY2023 Q別			
		Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	%	+8.4%	+6.3%		
派遣売上	%				
就業者数	%	+6.4%	+5.1%		
平均請求単価	%	+2.6%	+2.7%		
就業日数	%	+1.5%	-		
就業時間 *1	%	-0.1%	+0.3%		
その他売上増減等	%	-2.0%	-1.8%		
受託請負売上	%	-0.5%	-0.6%		
その他	%	-1.5%	-1.2%		

KPI	単位	FY2023				FY2022 (参考)			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
派遣KPI									
就業者数	千人	121	122			113	116	119	121
平均請求単価	円	2,263	2,267			2,201	2,202	2,204	2,215
就業日数	日	62	59	61	58	61	59	60	60
受注数 YOY *2	%	-5.1%	-5.4%			-	-	-	-
確定数 YOY *2	%	-3.1%	-9.2%			-	-	-	-
終了数 YOY	%	-3.6%	-1.9%			-	-	-	-

就業者数 : 毎月1営業日時点の長期派遣就業者数 ※長期=3ヶ月以上契約  
 平均請求単価 : 対象期間における派遣契約の請求単価 (長期・短期・単発)  
 就業日数 : (Staffing SBU単価) 暦日 平日日数から計画毎給日数を除いた日数  
 就業時間\*1 : パーソルテンプスタッフ株式会社における  
 対象月にある派遣契約 (長期・短期・単発) の平均就業時間 (時間内・時間外の合算)  
 受注数\*2 : 対象月に受注日を持つ派遣オーダー人数  
 確定数\*2 : 対象月に初回契約開始日を持つ派遣契約数  
 終了数 : 対象月に終了日を持つ派遣契約数  
 \*長期契約 (=3ヶ月以上契約) を対象として集計

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

19

まず、当社の主力であります Staffing SBU ですが、売上につきましては前年同期比で 7.4%の増でした。一方で、調整後 EBITDA につきましては、左下の方に記載しておりますが、昨年の 10 月からの社会保険制度の変更、あるいは今年度の 4 月からの料率の変更等もありまして、調整後 EBITDA につきましては 6.3%の減ですが、その他の費用についてはコントロールできていると理解をしております。また足元の営業の KPI ですが、就業者数については前年対比で 5.1%の増、そして請求単価につきましても約 3%の増ということでございます。一方足元の営業の状況ですが、受注数、確定数とも、前年対比で若干弱めに入っておりますが、一方で終了率の方も改善しておりますので、ご覧いただいた通り、就業者数の方はですね、12 万 2,000 ということで増加しております。

## 事業トピックス : Staffing SBU



### 経済産業省「キャリアアップ支援事業」

#### ▶ リスキリングに経済産業省補助金活用

～「GLOBIS 学び放題」の一部コースも対象に～

2023年8月より「キャリアアップ支援プログラム」補助対象講座の申込受付を開始。独自のリスキリング講座に加え、株式会社グロービスが提供する「GLOBIS 学び放題」の一部コースも補助の対象とします。



デジタル人材の育成を含むリスキリング機会を積極的に提供し、個人に寄り添ったキャリア形成支援を行っています。

詳しくは[こちら](#)

### Financial Well-being

#### ▶ はたらくサポートプログラム拡充

～将来のお金に関する不安解消への後押しを～

キャリア支援に加え、スタッフの皆さまの資産形成や将来のお金の不安への備え、より豊かな生活へつなげる後押しをコンセプトに、2023年10月2日よりオンライン資産運用サービスの利用サポートを開始しました。この取り組みは、提携する**みんなの銀行**と**大和コネクト証券**が連携することで実現しました。



“貯蓄から投資へ”の潮流に合わせ、資産形成の一步を踏み出しやすくするサービスを提供しています。

詳しくは[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

20

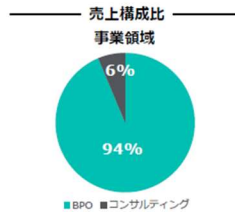
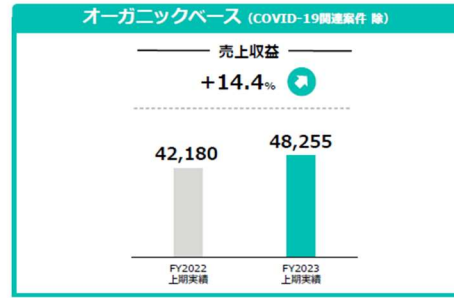
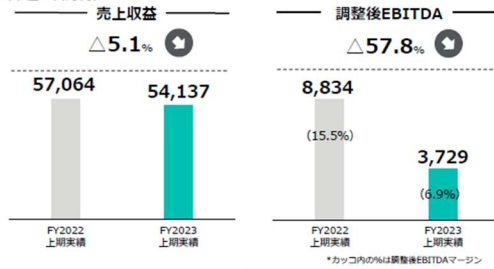
当社の Staffing SBU の取り組みとして、スタッフの皆様にリスキリングの機会をご提供したり、あるいは Well-being の実現のためにファイナンスに関係するサービスの提供等もしておりますが、時間の関係で詳細は省略させていただきます。

## SBU別上期決算概要 -BPO SBU-



需要は堅調。当第1四半期比 稼働増により調整後EBITDAマージンも上昇 (Q1 6.2% → Q2 7.5% +1.3pt)

FY2023上期  
(単位:百万円)



オーガニック業績推移	単位	FY2022				FY2023			
		Q1	Q2	Q3 <sup>*1</sup>	Q4 <sup>*1</sup>	Q1	Q2	Q3	Q4
売上収益	M.JPY	28,132	28,931	30,540	29,379	26,520	27,617		
オーガニック <sup>*2</sup>	M.JPY	20,378	21,802	22,941	24,905	23,505	24,749		

\*1 FY2022 Q3-Q4 Unaudited  
\*2 COVID-19関連案件 概算額を差し引いて算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

2つ目のSBUでございます、BPO SBUです。こちらの方は冒頭説明した通り、コロナの売上の剥落で売上高、そして、調整後 EBITDA とともに第1四半期同様マイナスです。一方で、コロナ以外のオーガニックな事業につきましては、前年対比で14.4%増ということで、好調な状況です。

## 事業トピックス : BPO SBU



**【1. 女性+デジタル人材育成】**  
埼玉県「令和5年度女性のデジタル人材育成推進事業」受託～募集開始から1カ月で申込者1,000人を突破～

**【2. 地方自治体との連携】**  
神戸市と連携、職住近接のはたらく場「神戸名谷ワークラボSUMAile (スマイル)」がオープン

**【3. 子育てサポート】**  
子育てサポート企業として厚生労働大臣認定の「くるみん認定」を取得

**【4. 脱炭素化GXの取組み】**  
企業向け、GHG排出量の算定支援、削減計画の策定、脱炭素経営に向けた実務支援など、最適なソリューションをワンストップで提供

**【5. ヘルスケア領域】**  
AI栄養士を活用「糖尿病早期対策プログラム」のサービス提供を開始

**【6. 社会貢献活動】**  
～「防災の日」に豊洲北小学校6年生約150名を対象にドローンを活用したICT特別授業を開催～

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

22

BPO SBU の主な取り組みですが、少し紹介させていただくと、真ん中の上ですが、神戸市の名谷でワークラボをですね、神戸市様から運営受託させていただいたり、左下の方ですが、カーボンニュートラルの取り組み、これは各企業様が非常に熱心にやっているのを私どもの方でサポートするような、こんなサービスもしております。





## 事業トピックス：Technology SBU



- 『JAPAN MOBILITY SHOW 2023』へ  
ベンチ型自動運転モビリティ『PARTNER MOBILITY ONE』を展示

### 『PARTNER MOBILITY ONE』とは

大型のテーマパークや公園、駅、医療機関などでの利用を想定して共同開発※された自動運転モビリティ

※自動車など輸送機器関連の豊富な技術・知見を持つパースルクロステクノロジーが車両の設計開発、久留米工業大学が車両開発の企画・統括、Le DESIGNが車体のデザインを担当

2～3名が荷物と共に横乗りでの乗車が可能で「会話だけでなく、同じ景色を同じ目線で楽しむ周遊の時間」という新しいモビリティスタイルを提供



### 展示概要

## Japan Mobility Show

主催：一般社団法人 日本自動車工業会  
会期：2023年10月26日（木）～11月5日（日）  
会場：東京ビッグサイト  
当社ブース：「Tokyo Future Tour」LIFE & MOBILITY  
（西展示棟 西1～2ホール）  
公式サイト：<https://www.japan-mobility-show.com/>



※出展の様子

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

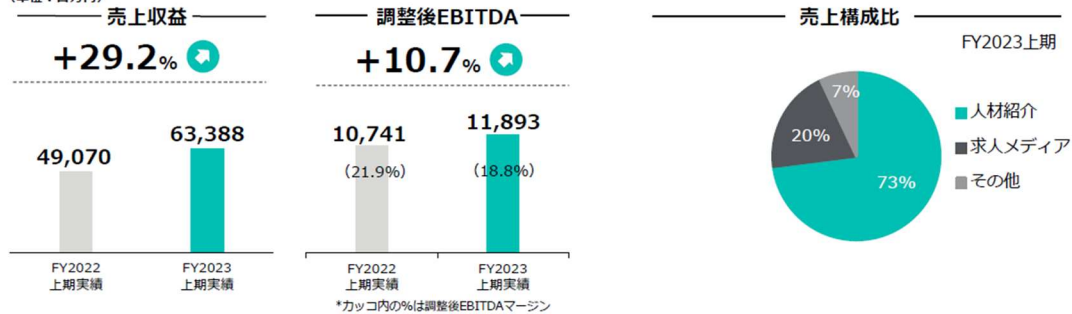
25

こちらの方はですね、ジャパンモビリティショーに当社も関わったモビリティを展示させていただきました。

## SBU別上期決算概要 –Career SBU–



(単位：百万円)



四半期（2023年7～9月）コメント	
<b>人材紹介</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>YoY約30%の増収</li> <li>CA等のHeadcount (HC) *は、当Q2平均2,261名 (YoY+25%)</li> <li>生産性(売上収益÷HC)は、当Q2平均2,730千円 (YoY+0%)</li> </ul>	<b>転職市場動向</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>一部企業で採用抑制はあるものの、即戦力・ハイクラス人材の採用ニーズは健在で下期以降も継続する見通し</li> </ul>
<b>求人メディア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>YoY約20%の増収</li> </ul>	

\*Career Advisors、Recruiting Advisors、Project Agents等の総数

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

26

4つ目のSBUのCareer SBUです。今中計、あるいは今年度の成長の柱です。まず売上高につきましては、29%の増でした。年間見通し30%ということを見通しとして出しておりますが、上期につきましては29%の増でした。調整後EBITDAにつきましては戦略投資をした関係で約10%の増ということでありです。内容の内訳を見ますと、人材紹介サービスは約30%の増、そして求人メディアについては20%の増ということでありです。景況感に注視しながら、コストコントロールもして、このCareer SBUにつきましては下期コントロールをしていきたいと考えております。

## 事業トピックス：Career SBU



### ジャパン・アルムナイ・アワード2023 「志のデザイン部門」最優秀賞受賞

- アルムナイコミュニティを立ち上げて再雇用・業務委託の機会創出を行う等の取り組みが一貫して、人々に意思を持って自らが望む「はたらく」をつかみ取ってほしいという想いに繋がっている点が評価され、最優秀賞を受賞



詳細は[こちら](#)

### 次世代IT人材輩出を目指し、 ITエンジニア育成会社3社と業務提携

- 協業施策第1弾として、転職サービス「doda」(は、キラメックス社とヤフー社運営の「ヤフーテックアカデミー」(※現：LINEヤフーテックアカデミー)、div社の「テックキャンプ」と共に、IT人材を目指す個人向けセミナーを2023年10月に開催



詳細は[こちら](#)

### プロ人材総合活用支援サービス「HiPro」 「スキルリターン」第2弾を山形県で開始

- 「HiPro」が掲げる、個人が雇用によらず、より多くの企業にスキルを還元することで個人と企業が成長し合う社会、すなわち「スキル循環社会」の実現に向けたアクション「スキルリターン」の第2弾を山形県で開始



詳細は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

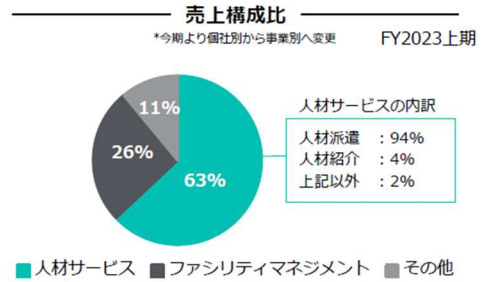
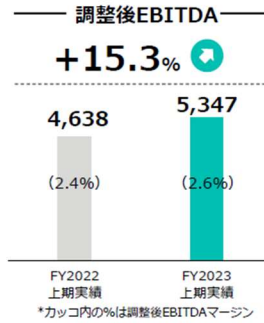
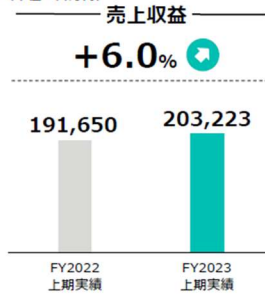
27

Career SBUの取り組みですが、特にITエンジニアの不足というのが日本の大きな課題だと思っておりますので、他社様と一緒に業務提携をして、そのITエンジニアの育成等もやっております。

# SBU別上期決算概要 –Asia Pacific SBU–



(単位：百万円)



## 四半期（2023年7～9月）コメント

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>人材サービス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材紹介は一部の国で低調だったものの、人材派遣は各国概ね堅調に推移</li> <li>人材紹介のHC（コンサルタント数）は当Q2平均1,166名</li> <li>マレーシアのシェアードサービスセンター活用等が進み、中計2026の通り順調にコストを削減</li> </ul> | <p><b>ファシリティマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空港、水道、学校など幅広い施設の管理、維持、補修を行うファシリティマネジメント事業は順調に成長</li> </ul> |
|---|--|

注1. これまで3か月ずつだった連結財務諸表への取込情報が、FY2023よりIFRS移行を機に同タイミングに変更  
 2. 為替レート【米ドル（PERSOLKELLY）】FY2022上期：134.0円、FY2023上期：141.1円 【豪ドル（Programmed）】FY2022上期：93.6円、FY2023上期：93.3円

最後のSBU、Asia Pacific SBUです。売上高につきましては6%の増、そして調整後EBITDAにつきましては15%の増でした。昨年の8月に先行して開示しましたAsia Pacificの中期経営計画に従いまして、順調に推移していると考えております。内容を説明いたしますと、約60%を占める人材サービスですが、アジアの国に少し低調な国もございますが、ほとんどの国がコロナ前に戻っているような状況です。また、マレーシアにシェアードサービスセンターを構築いたしまして、そちらの方でコスト削減を進めております。また、2つ目の事業でありますファシリティマネジメント、これは空港ですとか水道局ですとか学校の設備管理をする事業ですが、こちらの方も堅調で、全体として増収増益を達成することができました。



## (参考) Asia Pacific SBU業績内訳 (PERSOLKELLY、Programmed)



(単位：百万円)

	FY2022 Q2	FY2023 Q2	前年同期比	FY2022 上期	FY2023 上期	前期同期比
売上収益	97,759	100,954	+3.3%	191,650	203,223	+6.0%
PERSOLKELLY	23,374	26,348	+12.7%	46,487	52,074	+12.0%
Programmed	74,382	73,984	△0.5%	145,160	150,069	+3.4%
営業利益	1,245	1,624	+30.4%	2,175	3,464	+59.2%
PERSOLKELLY	833	719	△13.7%	1,436	1,398	△2.7%
Programmed	639	1,187	+85.6%	1,097	2,811	+156.1%
調整後EBITDA	2,486	2,751	+10.7%	4,638	5,347	+15.3%

注1. 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を運営する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません。  
 2. 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022上期：134.0円、FY2023上期：141.1円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022上期：93.6円、FY2023上期：93.3円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

29

Asia PacificのPERSOLKELLYとProgrammedの売上、そして営業利益の内訳です。特にオーストラリア、ニュージーランドを中心としたProgrammedの上期の実績ですが、前年上期が10億だったのに対して、この上期については28億ということで、順調に推移しているというふうに理解をしております。

## 事業トピックス: APAC SBU

Programmed社が2023年メルボルン空港エクセレンス・アワード・ガラで「ビジネス・パートナー・オブ・ザ・イヤー」を受賞



### Programmed Facility Management AU

Programmed Facility Managementは、6月16日にリッツ・カールトンで開催された2023メルボルン空港エクセレンス・アワード・ガラで「ビジネス・パートナー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

パンデミックがもたらした困難にもかかわらず、チームは耐え抜き、さらに強くなりました。この受賞は、メルボルン空港パートナーシップに取り組んだ彼らの努力と献身の証です。



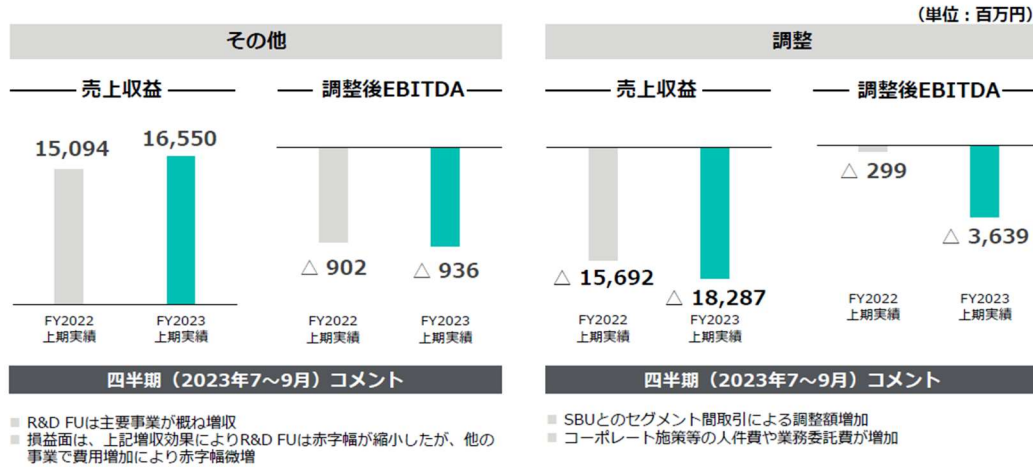
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

30

オーストラリアではメルボルン空港のファシリティ管理も担当させていただいておりまして、今回ですね、アワードを受賞することができました。詳細は時間の関係で省略をさせていただきたいと思います。



## SBU別上期決算概要 -その他・調整-



注:その他および調整の内容につきましては、決算短信のセグメント情報等に関する注記をご参照ください。  
\* FU: Function Unit の略

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

31

最後に、SBU に属さないその他の事業と調整の状況です。

その他につきましては、R&D ユニットの方も売上高の増、調整後 EBITDA につきましてはほぼ横ばいであります。

また、調整につきましては、記載の通りですが、SBU とのセグメント間調整が増えて、マイナスが大きく増えておりますが、実態的な経費の増というのは 6 億から 7 億程度にコントロールできていると理解をしております。

以上、私から上期の決算概要について説明いたしました。

# 人材紹介市場と Career SBUの中長期成長戦略

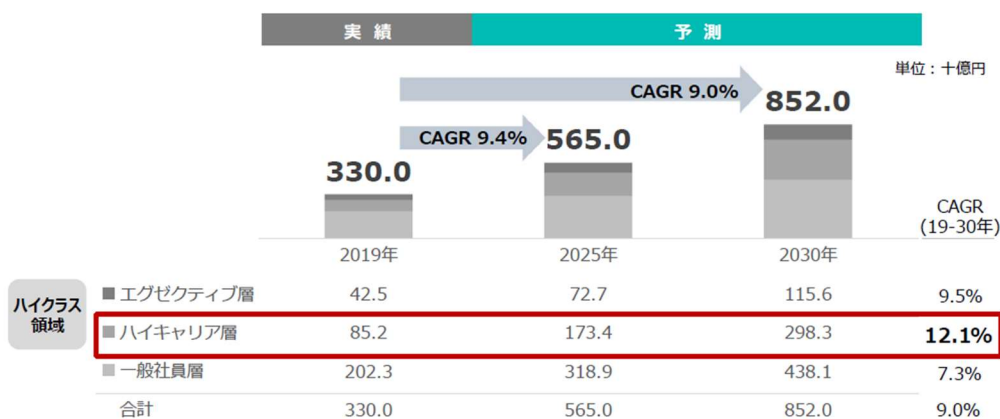
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【和田】続きまして、人材紹介事業、Career SBU の中長期戦略というところを私の方から少しご説明したいと思います。

## 人材紹介市場の中長期成長見通し



- 2030年までの人材紹介市場の年平均成長率は9%を想定
- 領域別では、ハイキャリア層の同成長率が最も高い約12%で、2030年には市場規模が最大の約3,000億円に達する見込み



出所：矢野経済研究所「人材ビジネスの現状と展望」/ 過去CAGRに基づき予測値を算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

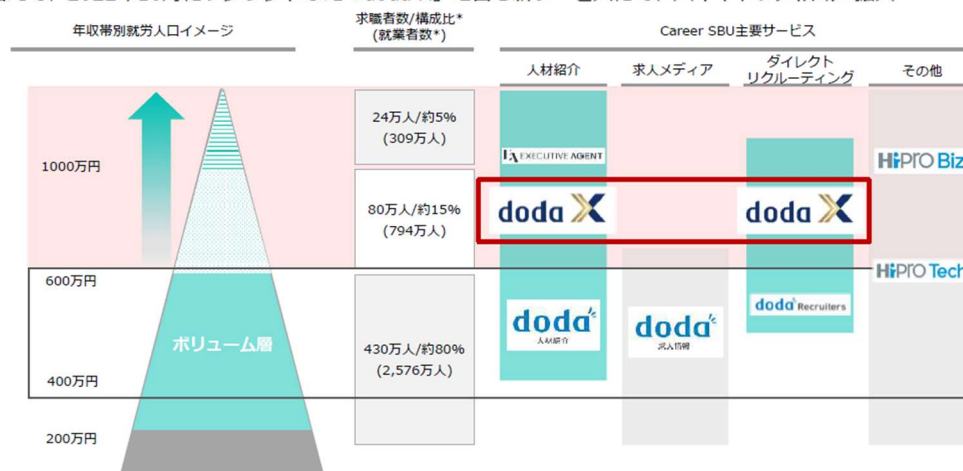
33

まずマーケット感です。我々は 2030 年に向けた取り組みを様々させていただいておりますけれども、この人材紹介マーケットは 2030 年に向けて大きく成長し続けるだろうと想定しています。特に CAGR9%以上の成長をするマーケットと捉えておりますので、今後も非常に有望だという認識でおります。その中でも、特にこの赤枠で囲ったハイキャリア層ですね、ここの成長が他の一般層ですとか、そのより上のエグゼクティブ層と比しましても、大きく成長する、要はそのハイキャリア層の方々の転職回数、転職意欲が高まるとマーケットを見てとっております。

## Career SBU 主要サービスのターゲット年収帯



- 代表ブランド「doda」の主要ターゲットは年収帯が400～600万円のボリューム層
- 加えて、2022年10月にリブランドした「doda X」を含む新サービスにて、ハイキャリア領域へ拡大



\* パーソルキャリア（株）が2022年に派遣・契約社員を含む会社員、会社役員を対象に実施した市場調査に基づき算出 Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

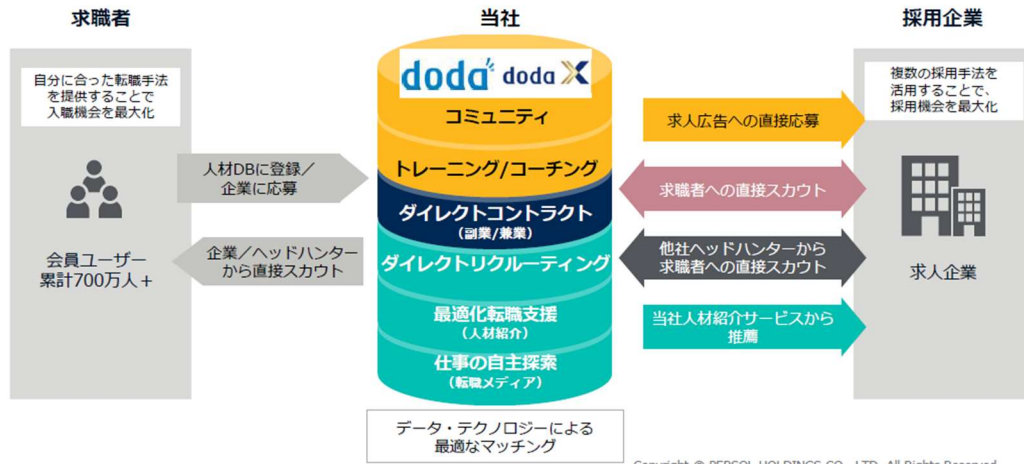
34

次のページを見ていただきますと、我々が得意分野としておりましたのはこのボリュームゾーンで、一般社員層でした。400 万円から 600 万円の年収帯のところは最もボリュームも大きいですし、我々のカバー範囲も広がったところがございますが、そこに加えましてこのマーケットが成長するハイキャリア層にターゲットを置いて、そこも成長させていくということを取り組んで参っております。これがご案内の通り doda X という形で今プロモーションさせていただいています。特にこの領域は、これから我々データベースをしっかり溜めていくということが今後の価値創造になってまいりますので、そこを肅々と進めているところでございます。

## 戦略方針 複層的な採用ソリューションによる独自のビジネスモデル



求職者・採用企業の双方に対し、複層的な採用ソリューションによって状況・ニーズに応じた最適な選択肢を提供することで、はたらく機会の創出数を最大化していく



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

35

これは我々の doda の戦略、人材紹介をどう他社と差別化を置いて成功に導くかというところを記載しております。まず、求職者から見た時のこの doda はですね、このようなサービス、どれかを使えば必ず就業に結びつく、要は就職できるという、こんな取り組みをさせていただいています。一番はじめにはそのコミュニティに入っていたところから始まって、トレーニング、コーチングを受けていただいたりとか、ダイレクトで副業をするというようなことでスキル、アップスキルを経験されるといったこともできますし、直接人材紹介のアプローチを受けるということもできます。それから採用企業のサイドから見ますと、おなじみでございますけれども、メディアもいいですしダイレクトリクルーティングでもいいですし人材紹介でもいいですし、どんな形でもいいので、やっぱりいい人材を企業として欲する人材を獲得したい、その確率を、圧倒的な比率を高めるということが、この我々の取り組みであります。doda のひとつのデータベースの中で、ワンストップで双方のサービスを実現させるということが、我々の取り組みであり戦略であります。これが今非常に功を奏しておりまして、先程申し上げました通り Career 事業の人材紹介部門で Career 事業の 29%の成長が実現できているというところでございます。

## 中間配当、期末配当予想

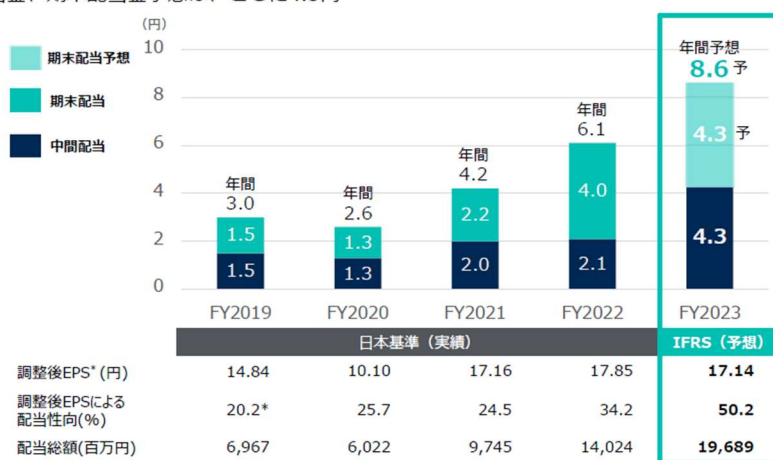
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして、配当のところに移ります。

### 中間配当、期末配当予想（2023/10/1付け株式分割後換算）



- FY2023の調整後EPS予想は17.14円となり、中計2026の配当方針（調整後EPSの約50%）に従い、年間の配当金予想は8.6円の見通し
- 中間配当金、期末配当金予想は、ともに4.3円



\*2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行ったため、一株当たり配当金額および調整後EPSは、過年度分も含め、当該株式分割が行われたと仮定して換算

\*FY2019の配当性向は、基準となる利益を調整後EPSに置き換えて算出

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

37

この表では、株式を10分割しておりますので、前年の比較等しっかりとできるようにということで、あえてこの形で記載させていただいておりますが、先程ご説明させていただきました通り、調整後EPSの50%を配当にすることで、中間配当、43円のところを今回このように記載し4.3円に、そして10分割した形で4.3円を期末の配当とさせていただきます。通期では、この総額196億8,900万円を配当の方に対応させていただくと、こんな計画をさせていただきます。



# グループトピックス

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

そして、最後にグループトピックスをお伝えします。

## 個人向け無料リスキングサービス「PERSOL MIRAIZ」開始 ～スキル習得・キャリア相談・転職まで一気通貫で支援～



- キャリアに役立つスキルの習得に向け、プロのキャリアカウンセラーが学習コースの選択だけでなく、学習継続のためのモチベーション向上も支援します。
- また、スキル習得後にどのようなキャリアパスの可能性があるか、キャリアカウンセリングを通じたアドバイスを行うとともに、転職希望の場合は転職サービス「doda」が次のキャリア実現まで伴走します。

詳細は[こちら](#)

これだけ見れば  
あなたもDX人材に!?  
DX & AIの基礎がわかる!

これさえ学べば  
あなたも明日から  
マーケターになれる!?

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

39

この2つ前の表にも記載しましたが、dodaの取り組みの中で、よりリスキング、それからアップスキリングをご支援していく、その中で将来的に転職やそういったところに繋げていくというこの考え方をもとに、個人向けの無料のスキル、リスキングのサービスを開始させていただいています。「PERSOL MIRAIZ」というふうに命名させていただきまして、単にインフラを提供するだけではなく、様々なカウンセリングや、そしてもちろん学習継続のためのご支援や、そしてその先の転職にまでしっかりと結びついた伴走型のサービスとして、このPERSOL MIRAIZを開始させていただいております。

## 日経リスキリングサミット2023に参加



- 8/31~9/1の2日間開催した「日経リスキリングサミット2023～リスキリング立国に向けた課題と挑戦～」に参加
- CEO和田は、特別座談会で「リスキリングをやり切るために」をテーマに、岸田首相と車座対談

詳細は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

40

最後ですが、リスキリング、非常に重要なテーマだと思っておりますし、これは日本の企業様の生産性を上げていく、この人材不足や人気不足、こういったものに対応するためにもより生産性を高める、そのために個人のスキルを高めていく、それから新しい事業に人材を配置していく上でも非常に重要だと認識しております。こういった取り組みを我々パーソル発でもしっかりとマーケットにもアピールしていきたいと思っておりますし、特に我々はダイレクトでできるのはもちろん人材紹介による機会の提供ができますけども、その前段階の、たとえば副業や兼業を実際にやってみた方が、非常に自分のスキルが上がった実感がある、自分のリスキリングができている、その実感を持っているといったデータもマーケットの中でお示ししながら、よりいい形の転職やもしくは企業内でのリスキルができるような、そんなご支援をさせていただければというふうに思っております。特に、我々ははたらく well-being 創造カンパニーになりたいということで取り組んでいるわけがございますので、特にその働かれています方々の、仕事を通した well-being の実現に向けた取り組みを、これからもしっかりと進めてまいりたいというふうに考えています。私の方からは以上とさせていただきます。